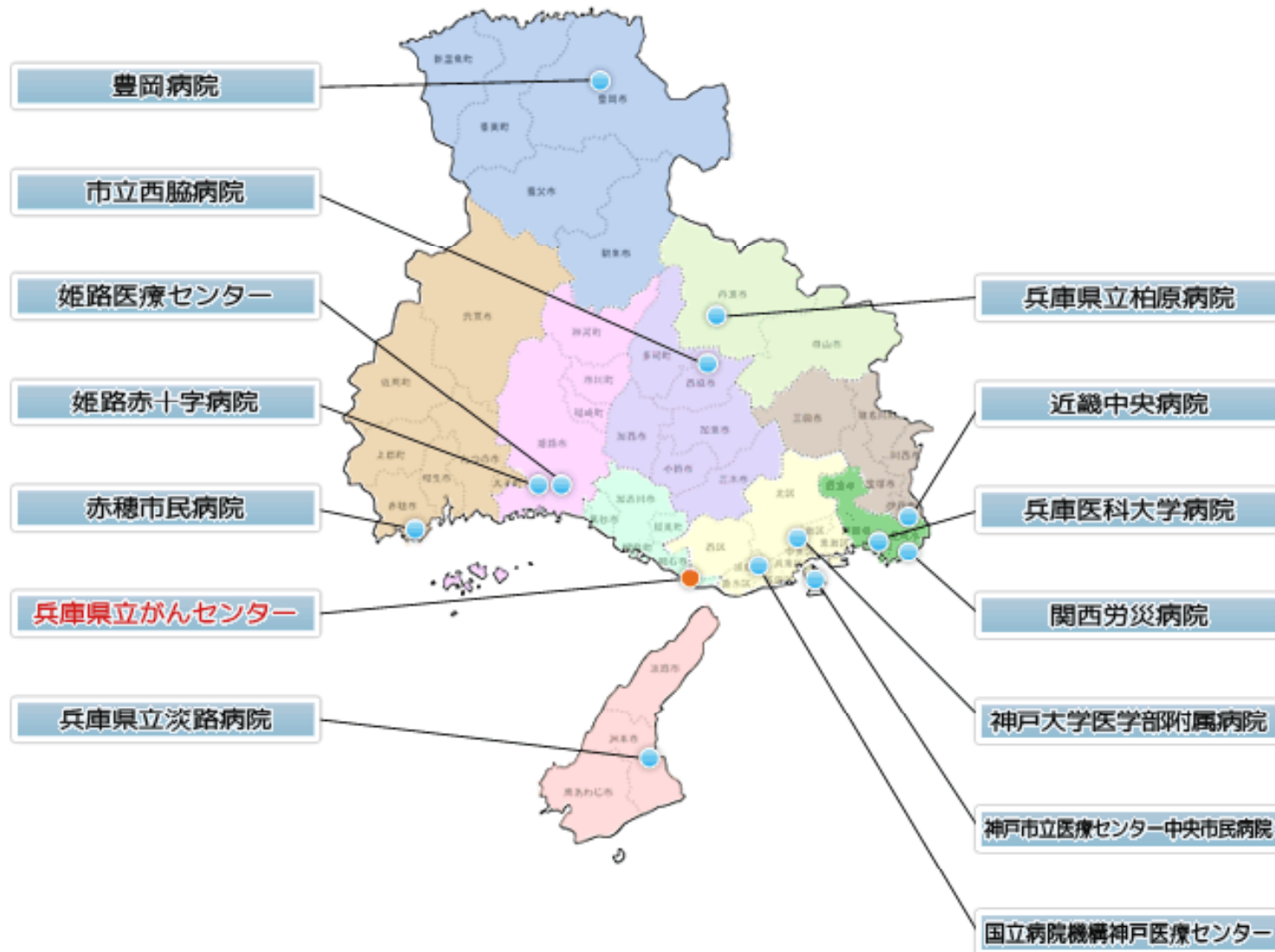


兵庫県主催 緩和ケアチーム研修会 開催の意義

○伊藤由美子、池垣淳一（兵庫県立がんセンター）
坂下明大、太田垣加奈子（神戸大学医学部附属病院）

兵庫県がん診療連携拠点病院



はじめに

- ▶ 拠点病院の緩和ケアチーム（以下PCT）の役割
 - － 院内および地域での緩和ケアの提供



はじめに

- ▶ 拠点病院の緩和ケアチーム（以下PCT）の役割

- －院内および地域での緩和ケアの提供

- ▶ 現状

- －PCT活動の在り方 課題とばらつき

- －地域への展開 ノウハウ殆ど蓄積なし



研修会の目的

Skill
full

PCTのスキルup
スキルの均てん化

県下がん患者・
家族のQOL向上
を図る

現在

将来



研修会の目的

Skill
full

PCTのスキルup
スキルの均てん化

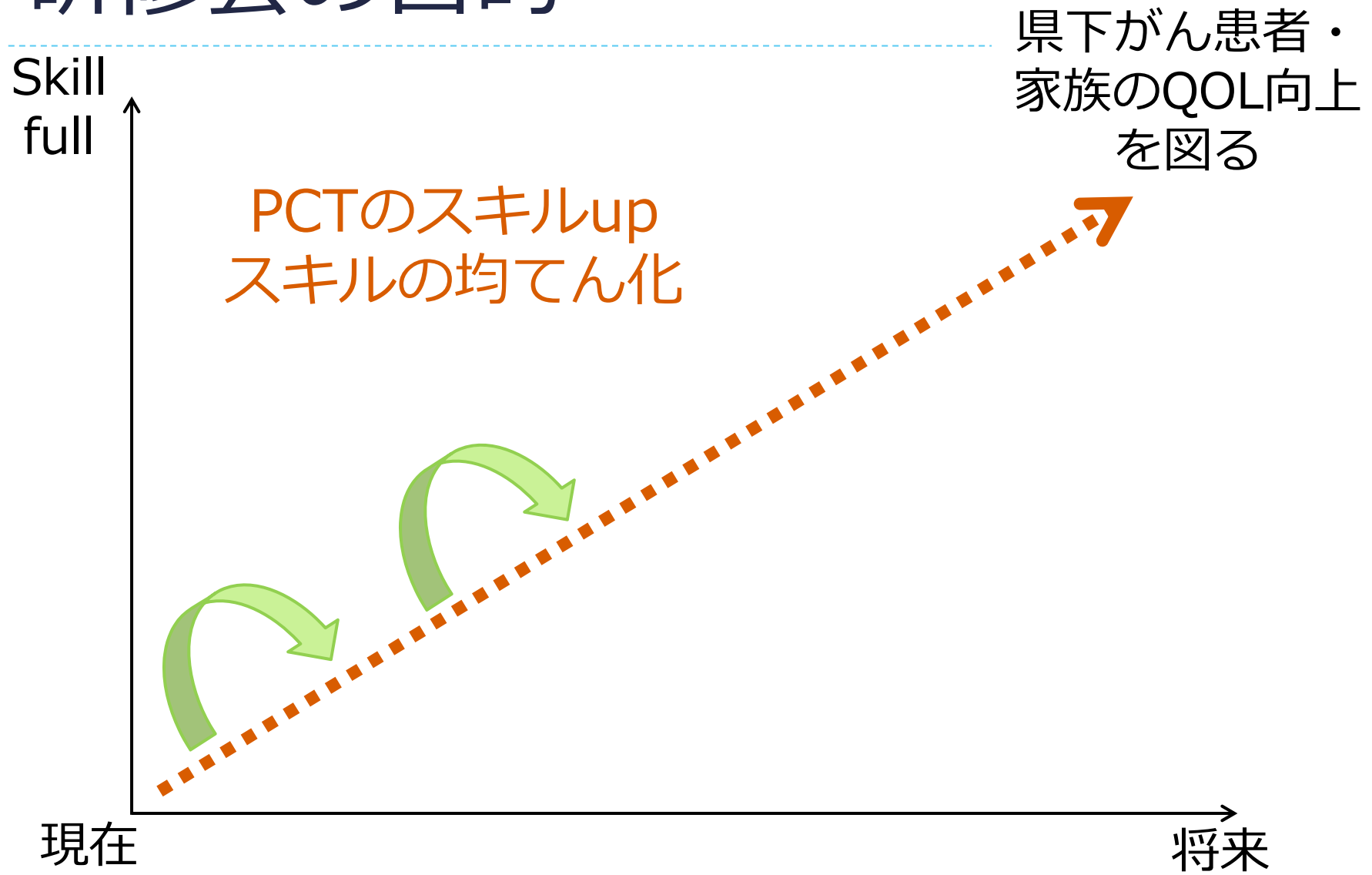
県下がん患者・
家族のQOL向上
を図る

現在

将来



研修会の目的



研修会の目的

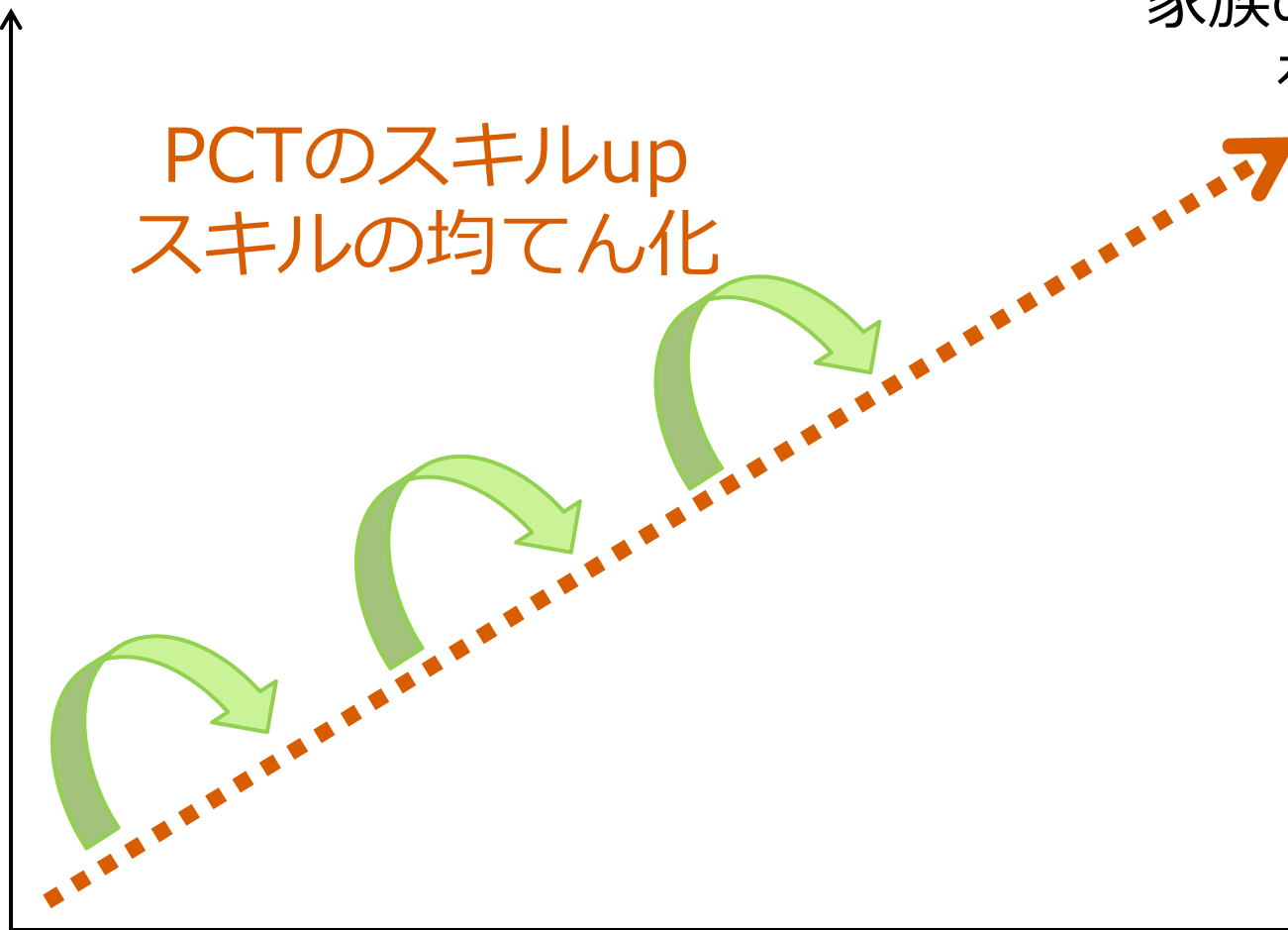
Skill
full

県下がん患者・
家族のQOL向上
を図る

PCTのスキルup
スキルの均てん化

現在

将来



研修会の目的

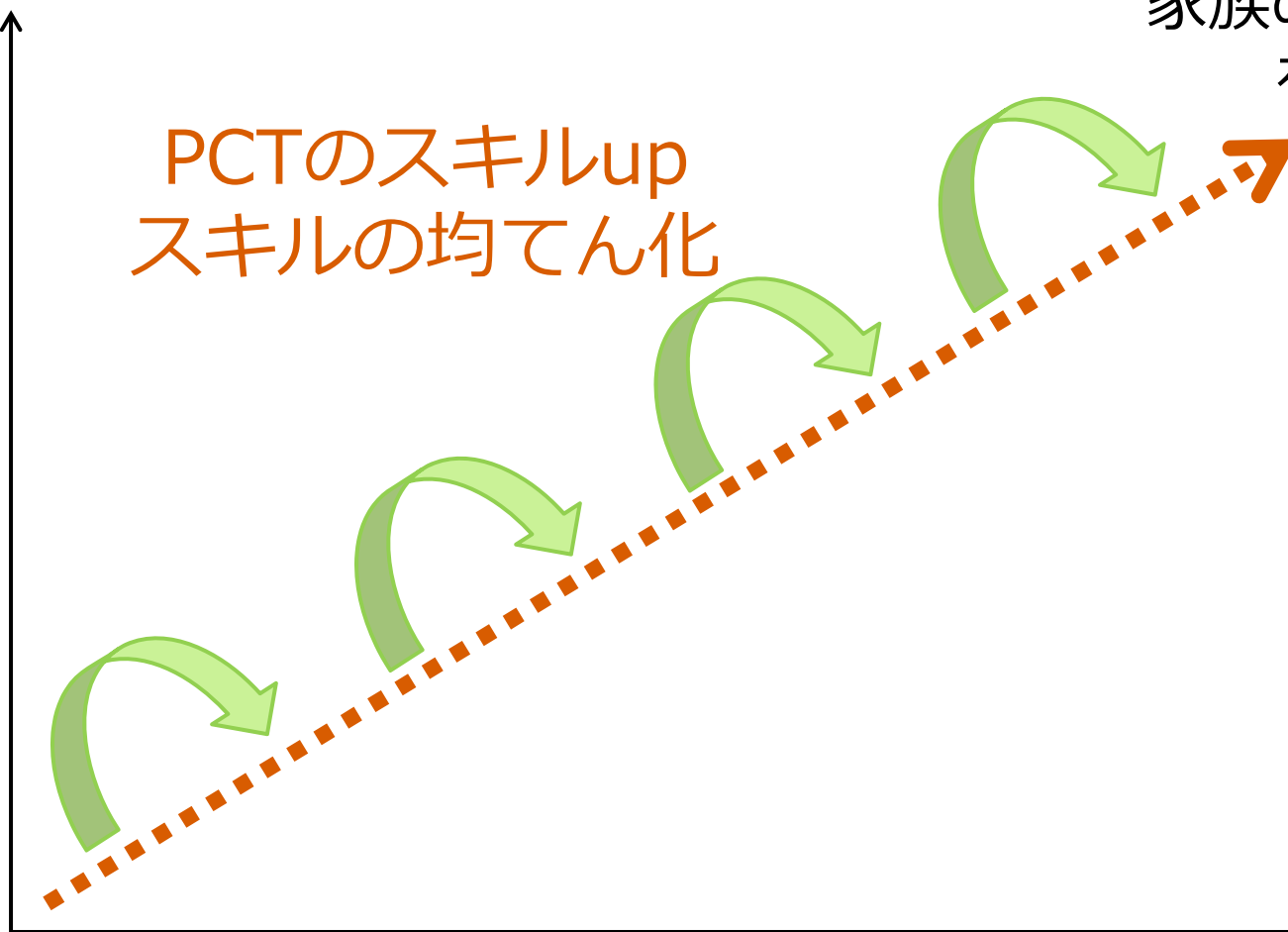
Skill
full

県下がん患者・
家族のQOL向上
を図る

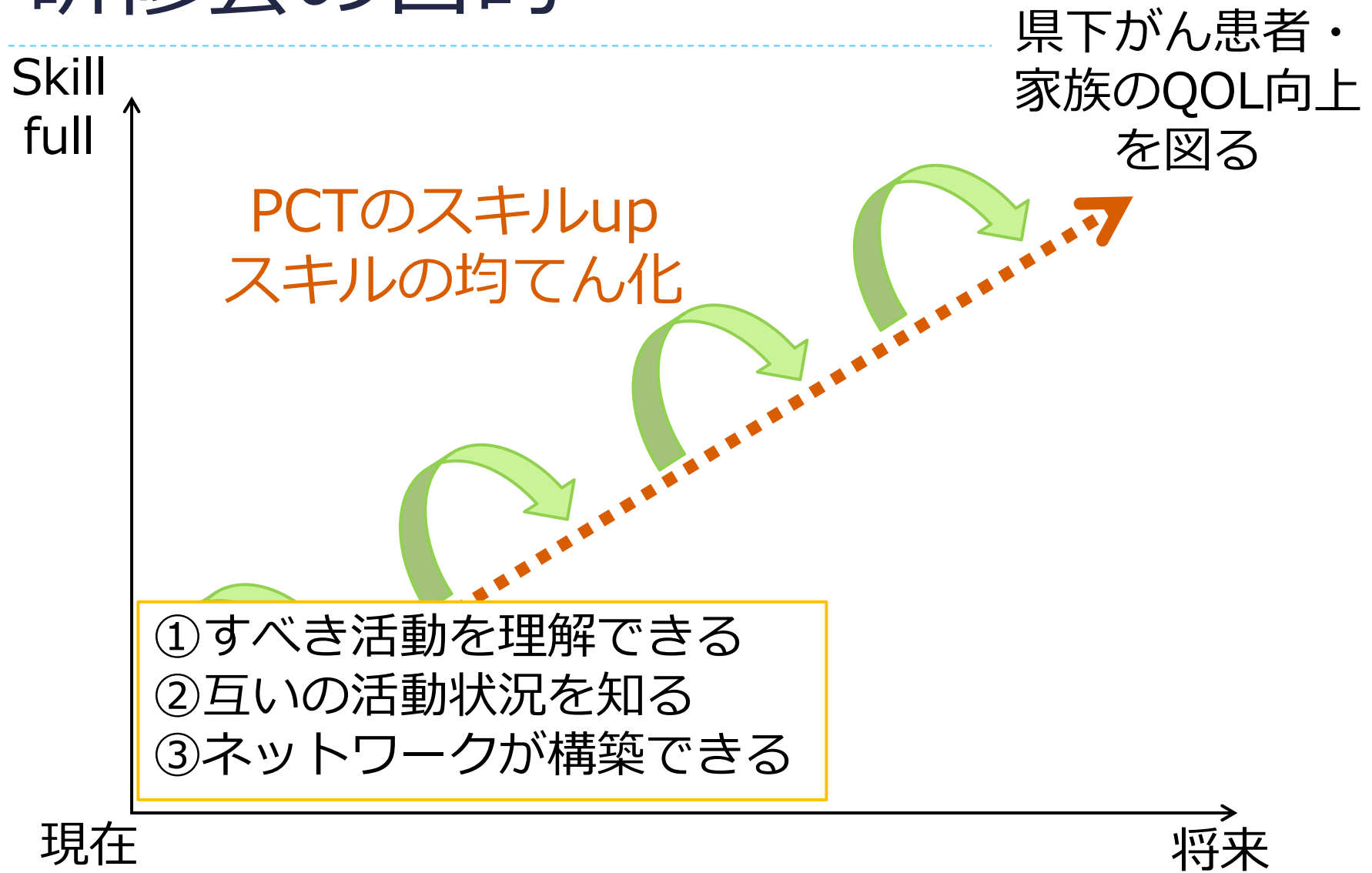
PCTのスキルup
スキルの均てん化

現在

将来



研修会の目的



開催準備-1

- ▶ 兵庫県がん診療連携協議会
「緩和医療部会の活動」と位置付け
 - ▶ 日時と場所
2010年9月4日-5日 有馬温泉
 - ▶ 対象
拠点病院のPCT
身体医師、精神医師、看護師、薬剤師
-



将来的に輪を広げていく

A拠点
P C T



E拠点
P C T

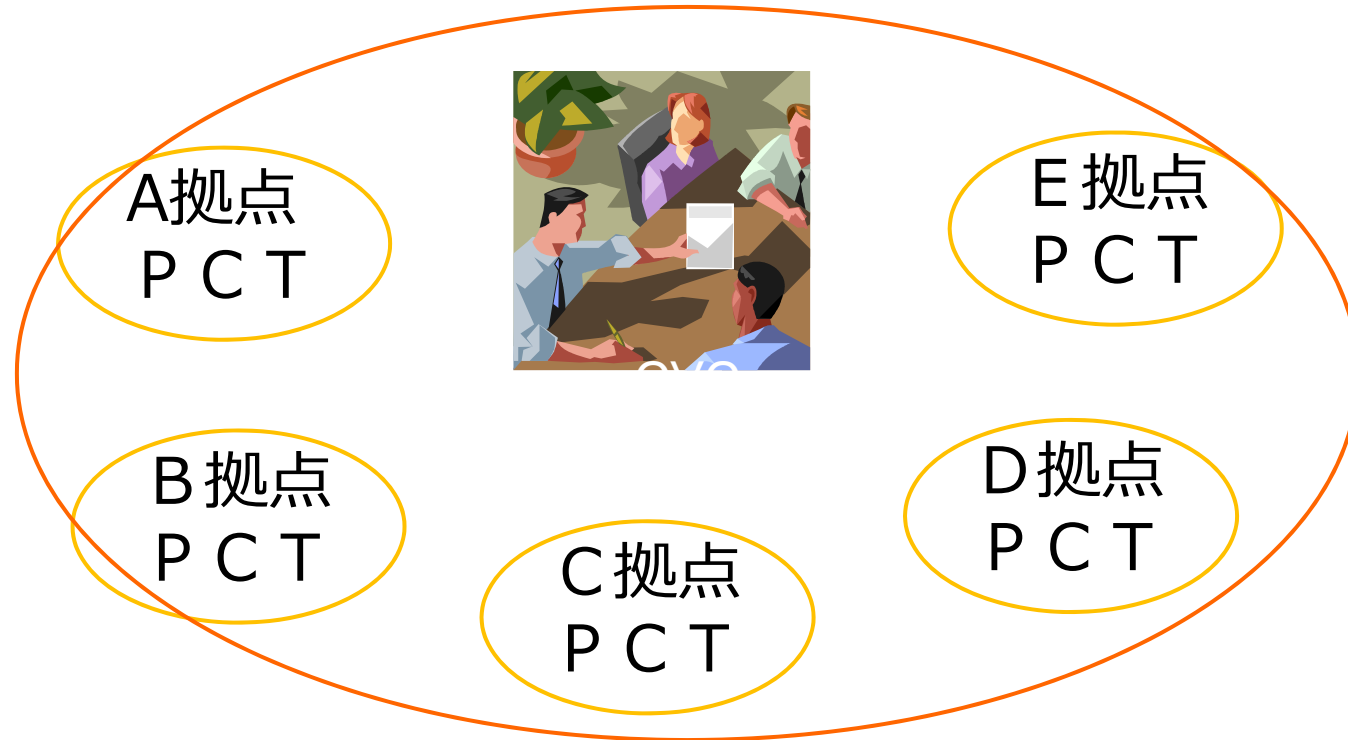
B拠点
P C T

C拠点
P C T

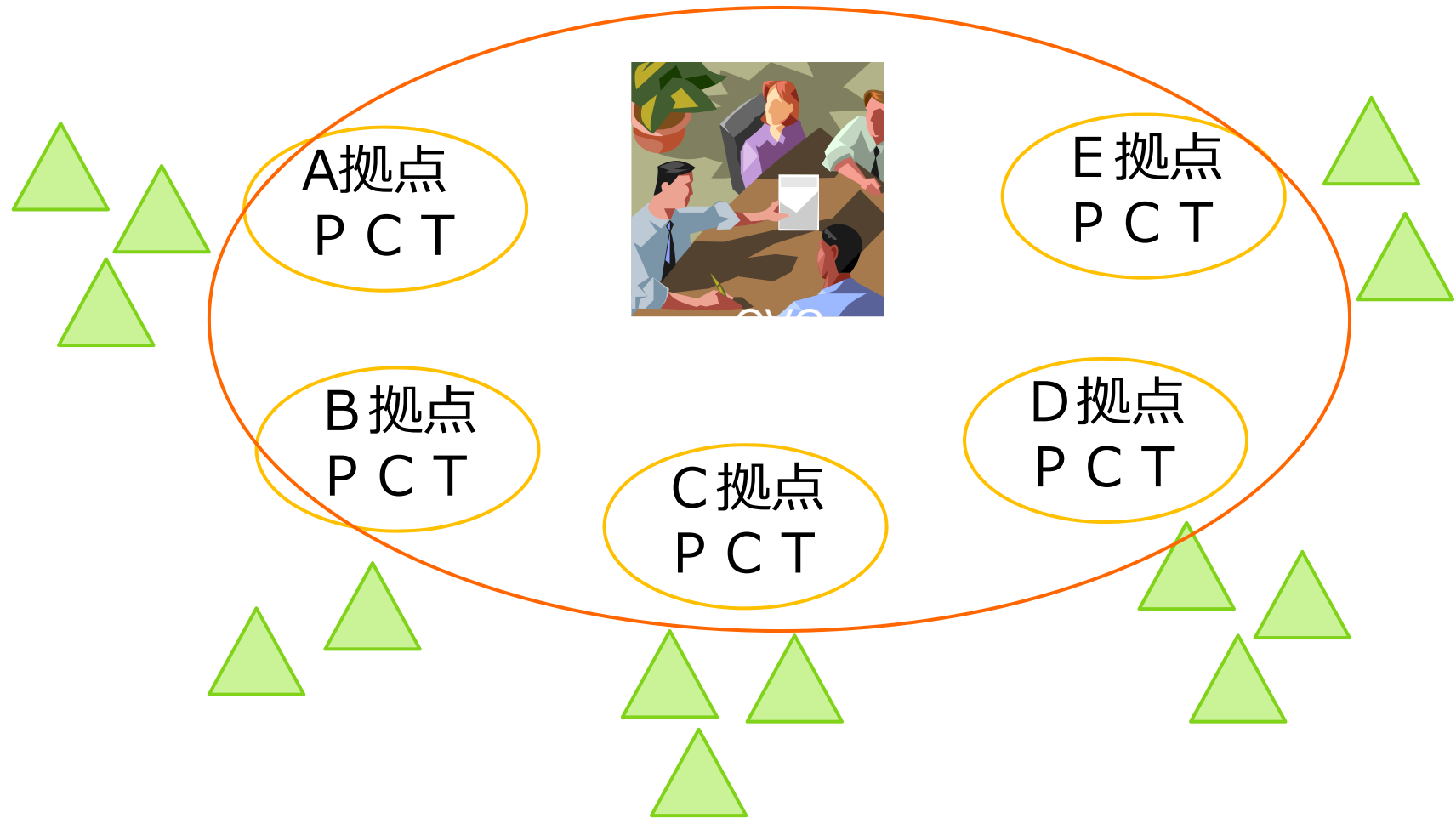
D拠点
P C T



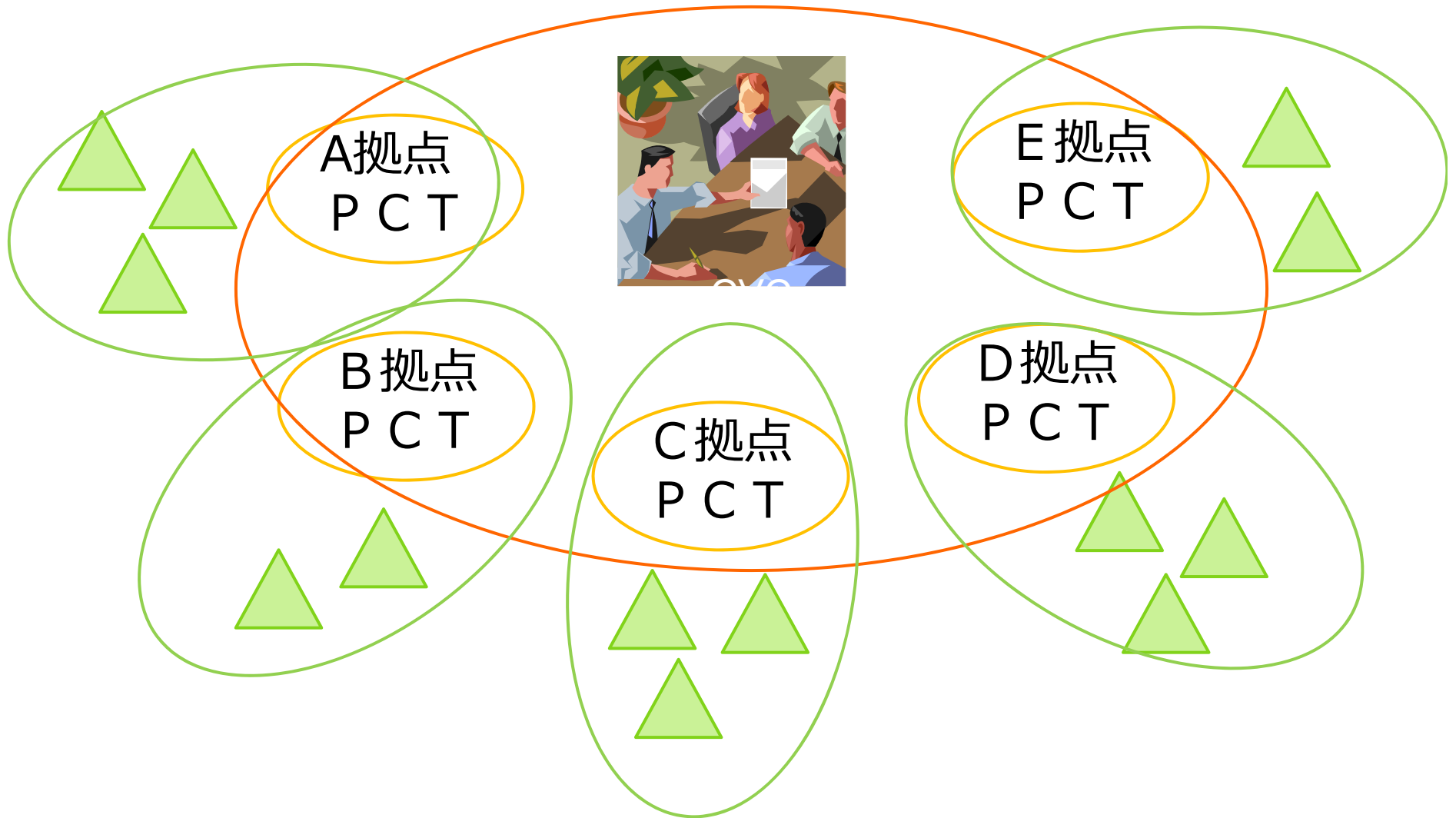
将来的に輪を広げていく



将来的に輪を広げていく



将来的に輪を広げていく



開催準備-2

▶ 事前アンケート

- ① チームの背景
- ② 現在の活動における問題点



→KJ法で質的分析、プログラムに反映した



事前アンケート結果

現在の活動における問題点

- ▶ チームの有効な活動方法を知りたい
 - コンサルトの受け方やフォローの仕方がわからない
 - ラウンドが効果的にできていない
 - 活動の評価ができていない
 - 立ち上げ時の運営、コミュニケーションを知りたい



事前アンケート結果

現在の活動における問題点

- ▶ チームの有効な活動方法を知りたい
 - コンサルトの受け方やフォローの仕方がわからない
 - ラウンドが効果的にできていない
 - 活動の評価ができていない
 - 立ち上げ時の運営、コミュニケーションを知りたい
 - ▶ 薬剤師の役割がわからない
-



事前アンケート結果

現在の活動における問題点

- ▶ チームの有効な活動方法を知りたい
 - コンサルトの受け方やフォローの仕方がわからない
 - ラウンドが効果的にできていない
 - 活動の評価ができていない
 - 立ち上げ時の運営、コミュニケーションを知りたい
 - ▶ 薬剤師の役割がわからない
 - ▶ プライマリーDr.Ns.との協働の問題
 - 病棟への関わりが不十分、主科と緩和の業務配分
-



事前アンケート結果

現在の活動における問題点

- ▶ チームの有効な活動方法を知りたい
 - コンサルトの受け方やフォローの仕方がわからない
 - ラウンドが効果的にできていない
 - 活動の評価ができていない
 - 立ち上げ時の運営、コミュニケーションを知りたい
 - ▶ 薬剤師の役割がわからない
 - ▶ プライマリーDr.Ns.との協働の問題
 - 病棟への関わりが不十分、主科と緩和の業務配分
 - ▶ 地域への支援不足
-



事前アンケート結果

現在の活動における問題点

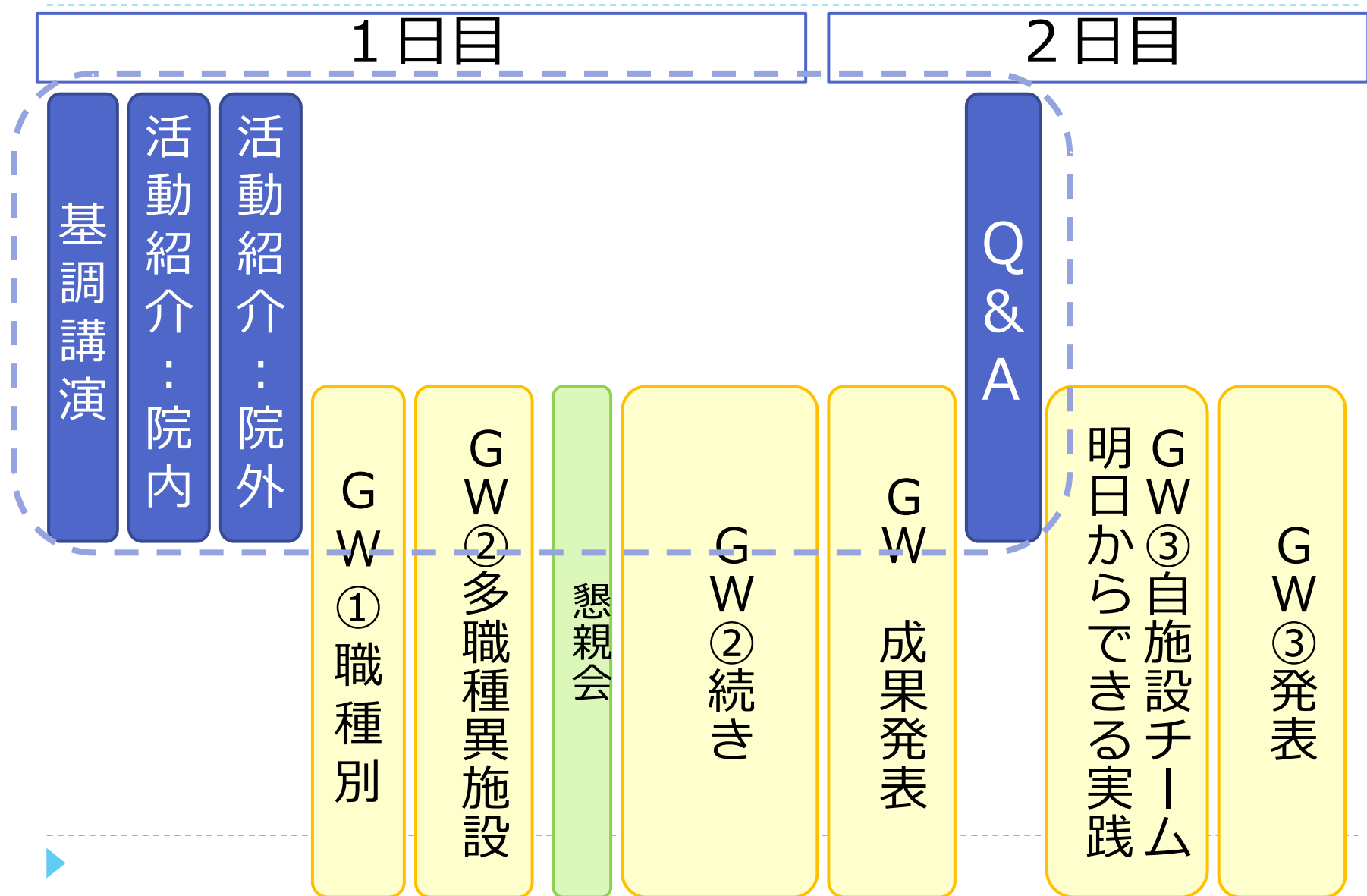
- ▶ チームの有効な活動方法を知りたい
 - コンサルトの受け方やフォローの仕方がわからない
 - ラウンドが効果的にできていない
 - 活動の評価ができていない
 - 立ち上げ時の運営、コミュニケーションを知りたい
- ▶ 薬剤師の役割がわからない
- ▶ プライマリーDr.Ns.との協働の問題
 - 病種への関わりが不十分
 - 内科と緩和の業務配分

▶ 地域

▶ 時間

**何をすればいいのか
どう動けばいいのか
それがわからない??**

プログラム



プログラム

1 日目

2 日目

基調講演

活動紹介：院内

活動紹介：院外

GW ① 職種別

GW ② 多職種異施設

懇親会

GW ② 続き

GW 成果発表

Q & A

GW ③ 自施設チーム
明日からできる実践

GW ③ 発表

プログラム

橋爪先生から
基調講演
PCTがすべきこと

1 日目

2 日目

基調講演

活動紹介：院内

活動紹介：院外

GW ① 職種別

GW ② 多職種異施設

懇親会

GW ② 続き

GW 成果発表

Q & A

GW ③ 自施設チーム
明日からできる実践

GW ③ 発表

プログラム

橋爪先生から
基調講演
PCTがすべきこと

1 日目

2 日目

基調講演

活動紹介：院内

活動紹介：院外

GW ① 職種別

GW ② 多職種異施設

懇親会

GW ② 続き

GW 成果発表

Q & A

GW ③ 自施設チーム
明日からできる実践

GW ③ 発表

県内の先進施設
からPCT活動
の実際を紹介
ノウハウを共有

プログラム

橋爪先生から
基調講演
PCTがすべきこと

1 日目

2 日目

基調講演

活動紹介：院内

活動紹介：院外

座学を聞いた上で、自分の
役割・チームの目指すこと
を考える
職種別・仮想チームで
ブレインストーミング

Q
&
A

県内の先進施設
からPCT活動
の実際を紹介
ノウハウを共有

GW ① 職種別

GW ② 多職種異施設

懇親会

GW ② 続き

GW 成果発表

GW ③ 自施設チーム
明日からできる実践

GW ③ 発表

プログラム

橋爪先生から
基調講演
PCTがすべきこと

1 日目

2 日目

基調講演

活動紹介：院内

活動紹介：院外

座学を聞いた上で、自分の
役割・チームの目指すこと
を考える
職種別・仮想チームで
ブレインストーミング

Q
&
A

2日間の学びを
通して、自分
たちの役割、
チームのgoal
を再検討

県内の先進施設
からPCT活動
の実際を紹介
ノウハウを共有

GW ① 職種別

GW ② 多職種異施設

懇親会

GW ② 続き

GW 成果発表

GW ③ 自施設チーム
明日からできる実践

GW ③ 発表

結果

▶ 参加者 36名

医師14名、薬剤師10名、看護師12名

がん医療の経験年数 1-5年 73%

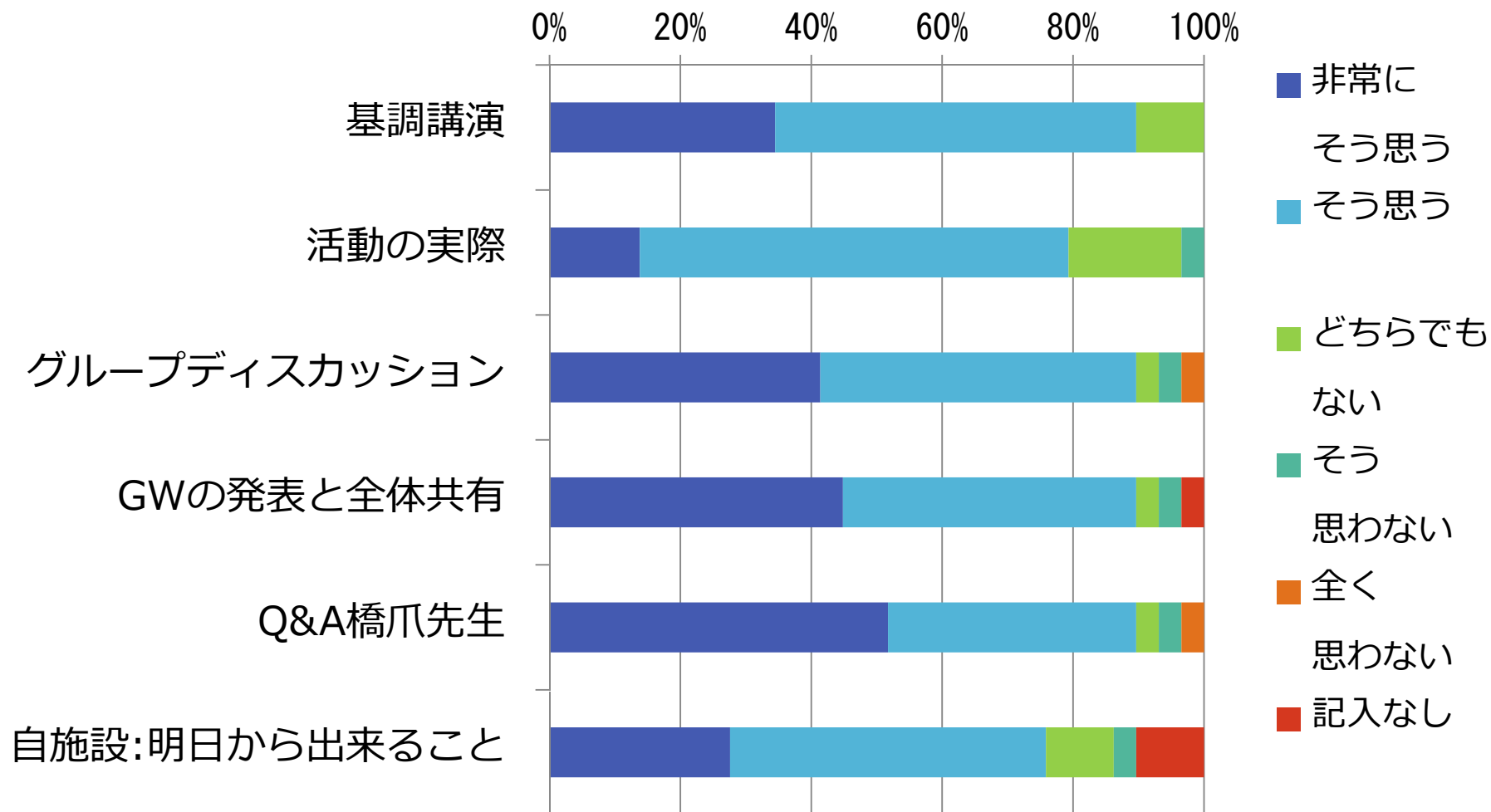
緩和ケアチーム活動経験 1-5年 60%

1か月あたりの介入数 5名以下 69%

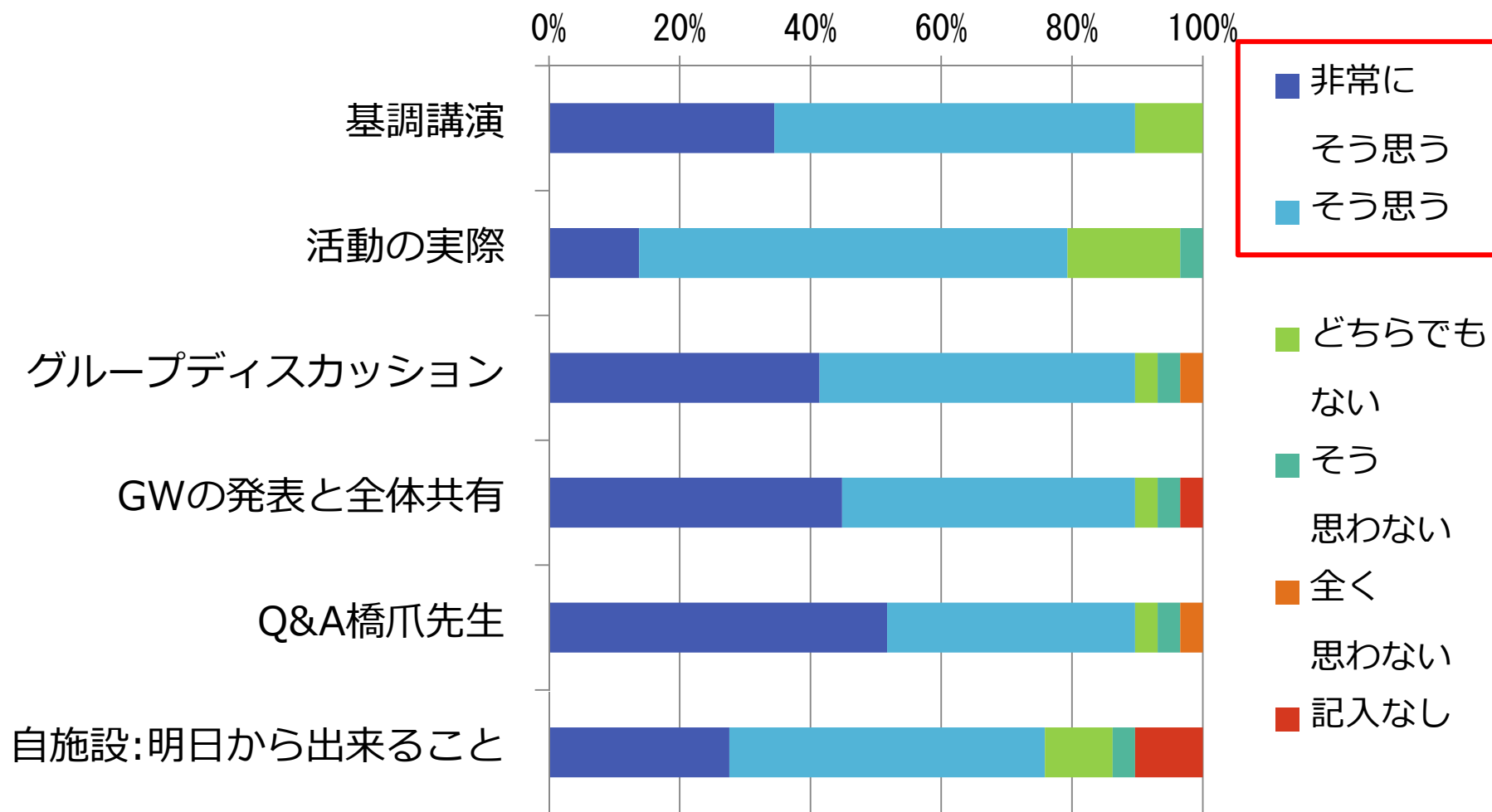
▶ 参加施設 9施設（14施設へ案内）



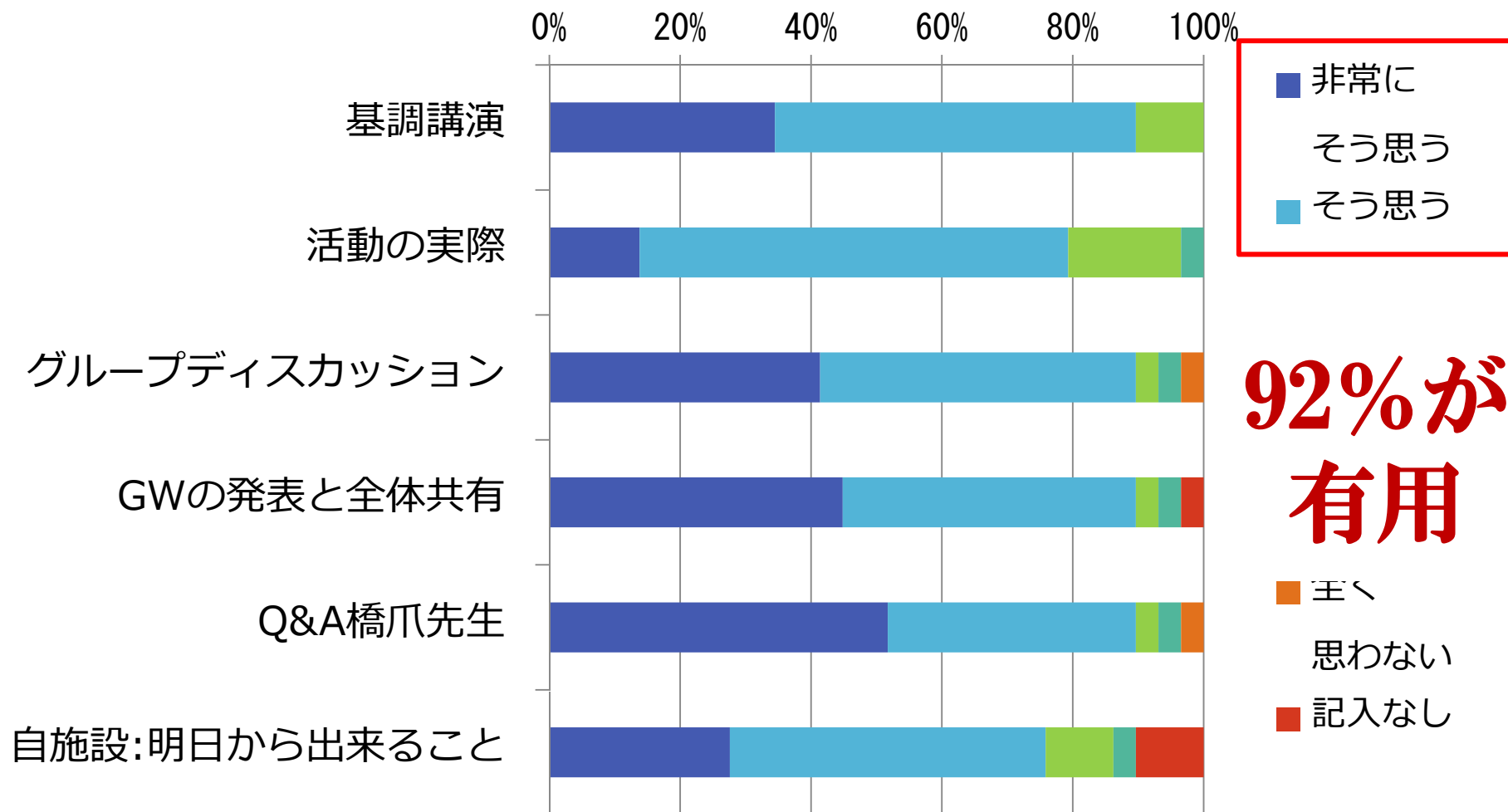
今後のチーム活動に有用と思うか



今後のチーム活動に有用と思うか



今後のチーム活動に有用と思うか



どんなことが役立ちましたか？

▶ 他チームとつながりができた

- 他病院の方と顔を合わせて話げできたのが良かった
- つながりができて良かった

▶ 他施設の状況がわかった

- 他施設のPCTの現状を知ることができる良い機会だった
- 日々疑問に思っていることなど同職種間で情報交換でき良かった

▶ 自施設の活動に関する問題点が明らかになった

- 日頃の悩みが緩和され元氣をもらえる会だった
 - 他の病院のPCTの実績、Nsと話すことができ、同じような問題や全く違う問題があることがわかった
 - 思っていたより楽しい会だった
-

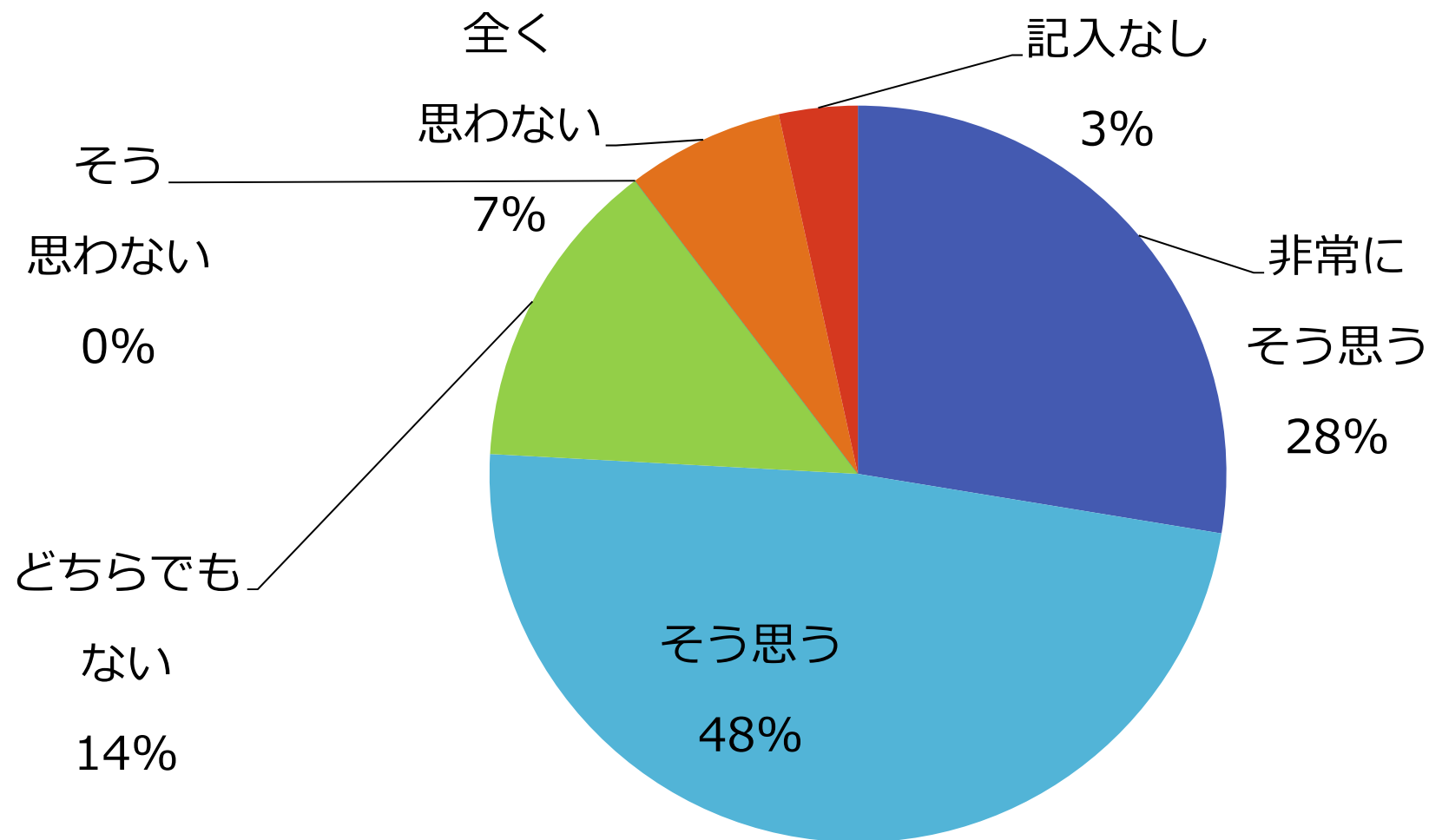


GW③それぞれのチーム目標

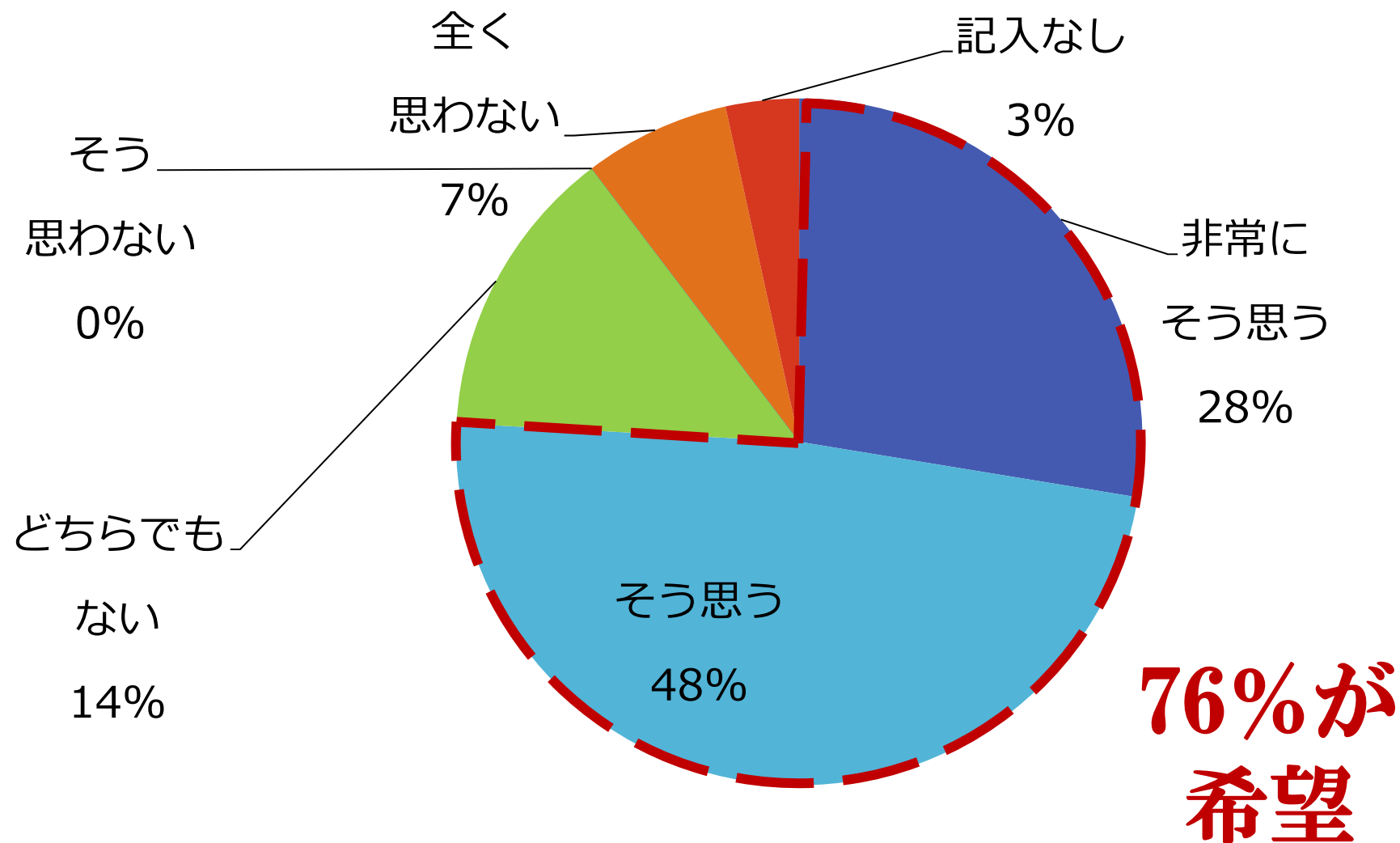
- ・ 病気になったそのときからみんなで支える
 - ・ 除痛率100%を目指す
 - ・ リンクナーズの育成
 - ・ 緩和ケアマニュアル形態：ハンディタイプ
 - ・ 病院の経営も考える
 - ・ 緩和ケア診療加算の算定
 - ・ 地域の核となる
 - ・ 予算をとる
 - ・ 環境整備：緩和ケアチームの部屋
-



来年も開催を希望しますか？



来年も開催を希望しますか？



今後の研修会に対する希望

▶ 実務的な作業班にする

WGを作り、パス、共通マニュアルの作成など実務的な会にしてほしい (2)

▶ 具体的な実践を学びたい

- チーム運営の具体的な方法、コンサルの受け方、返し方
- 具体的なラウンド方法、記録方法をみせてほしい

▶ 症例検討がしたい

病院を越えた症例検討がしたい

▶ コミュニケーションを深める場

▶ 1日の研修にする

▶ 参加枠を広げてはどうか



研修の意義

- ▶ PCTは、がん診療連携拠点病院での設置が必須とされたが、現状はチームの背景、成熟度が多様であり、活動方法も確立されているわけではない。
- ▶ 今回、基調講演によりPCTの目指す方向、あり方の基盤について共通理解できた。
- ▶ その上で、チーム間の関係が構築され、他施設の活動状況を知ることで、自施設の問題点が明らかになったり、今後の具体的な活動目標を設定するなどの成果があり、有意義であったと考えられる。



今後の展望

第2回 緩和ケアチーム研修会

- ▶ 日時：2011年12月3日（土）10時-17時
赤穂市民病院

- ▶ テーマ

**『みよう！学ぼう！やってみよう！
チーム活動の実践』**

内容：スキルの習得

カンファレンスの持ち方、コンサルテーションへの対応、記録の仕方、主治医・病棟Nsとの協働方法など（PR GWで）



まとめ

- ▶ チームがすべき活動と今後の展望の最新知識ができた。
- ▶ グループワークをすることで、各チームでの活動目標ができた。
- ▶ ネットワークが構築できた。





橋爪先生！



ご清聴
ありがとうございました

